

みんなで沢端川をきれいに

沢端川周辺などを清掃

3月26日、「沢端川ボランティア清掃」が沢端川周辺で行われました。この活動は、白石城の内堀にあたる沢端川などの土砂上げと補修をするために行っている「川干」に合わせて毎年行われており、今回で23回目。市内の企業や団体・個人などのボランティア約360人が川底や川沿いのごみを拾い集めました。参加者は「毎年参加していますが、年々ごみが少なくなっていると感じます。この活動が市全体に広がるとうれしいです」と話してくれました。清掃後は、協賛した市内企業から豚汁や焼きおにぎり、バランス栄養食が振る舞われました。



▲多くの子どもがボランティアとして活動に参加

笑顔で楽しく練習の成果を披露

キューブ新体操教室発表会

3月29日、「キューブ新体操教室発表会」がホワイトキューブで開催され、同教室で練習に励む選手やOB・OG、仙台大学の学生など約100人が参加し、日ごろの練習の成果を発表しました。

この日は、男子団体6人中5人が同教室出身の選手で占める名取高校も参加。全国トップクラスの演技で会場を沸かせました。

演技を披露した選手は「すごく緊張しましたが、ノミスの演技ができました。これからも練習をがんばります」と楽しそうに話してくれました。



▲息の合った創作演技で会場を沸かせた同教室の生徒たち

お城の桜を愛でながら

桜フェスタしろいしが開催

4月2・9日の2日間、「桜フェスタしろいし」が開催されました。このイベントは、桜の季節にあわせて行われており、今年は初めて白石城で開催されました。

この催しには、2日間で約300人が来場。2日は邦楽演奏家のミカド香奈子さんが篠笛や端唄、三味線を演奏、9日はミュージシャンの坂本サトルさんやJ O Y さくらの皆さんによるライブ、篠笛の会の皆さんなどによる祭りばやしや演奏されました。北海道から訪れた親子は「天守閣の中で演奏が聴けてとても楽しめました。雰囲気があり素晴らしかったです」と話してくれました。



▲篠笛で荒城の月を披露するミカド香奈子さん

白石の情報がぎっしり！

しろいし情報館落成式

3月24日、JR東北新幹線白石蔵王駅構内に完成した「しろいし情報館」の落成式を行いました。これは、平成26年10月に同駅の耐震工事に伴い閉館した「白石市温麺の館」をリニューアルしたもので、市観光協会や白石青年会議所などから選出した委員の意見をもとに建設。総工費約2,867万円、床面積269.7㎡で、観光や物産などを紹介する施設として生まれ変わりました。

風間市長は「総合的な情報発信基地にしていきたいです」と、全国から訪れる多くの観光客が利用することに期待を寄せていました。



▲落成を祝い、テープカットする関係者たち

まちをきれいに

春の一斉クリーン作戦

3月27日、毎年恒例の「市内一斉クリーン作戦」が市内全域で行われました。この日は、7,518人の市民がボランティアで参加。可燃ごみ9,060kg、不燃・粗大ごみ4,660kg、資源ごみ4,020kgの総計17,740kgのほか、タイヤ244本、リサイクル家電80台（テレビ39台、冷蔵庫20台、洗濯機21台）などが拾い集められました。

市役所正面駐車場では、昨年度から開始した小型家電の回収を行い、パソコンや家庭ゲーム機など合計44台を回収。小型家電の回収ボックスは、中央公民館や各地区公民館にも備え付けていますのでご利用ください。



▲地域のごみを拾い集める参加者たち

地域に親しまれ登録第1号

延命寺山門が国の有形文化財に登録

2月25日、不澄ヶ池の延命寺山門が、市内では初の国登録有形文化財に登録され、4月14日、同所で登録証と登録プレートの贈呈式が行われました。この山門は、もともと白石城既曲輪の厩口門として、現在の神明社の大鳥居があった場所に建てられたもの。明治時代、お城の解体時に、延命寺に移築、山門として保存されました。大正時代以降は何度も修理や耐震工事が行われながら、長年、地域に親しまれ大切に守られてきました。住職の疋田正應さんは「白石城の数少ない遺構として、これからも大切に守っていきます」と話していました。



▲文化庁から送られた登録証などが風間市長から贈呈されました

蔵王山麓に春の訪れ

水芭蕉の森・どうだんの森開園式

4月4日、「水芭蕉の森・どうだんの森開園式」を福岡深谷字白萩山地内の同園地で開催し、関係者など約100人が参加しました。この日は、あいにくの雨模様でしたが園地内の湿地には約50,000株のミズバショウが見ごろを向かえ、参加者たちは湿地帯に整備された木道を、立ち止まりながら散策を楽しみました。

訪れた参加者は「とてもきれいでした。毎年、ミズバショウを見に来っていますが、今年は花の数が多いように思います」と笑顔で話してくれました。

どうだんの森は、例年5月から6月までが見ごろです。



▲傘をさしながら園内を散策する参加者たち

交通事故ゼロへ出陣！

春の交通安全県民総ぐるみ運動出陣式

4月6日から15日までの10日間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が実施され、初日の6日、白石警察署（伊藤正人署長）で出陣式が行われました。同署員など関係者約120人が参加する中、式に先立ち白石ライオンズクラブ（風間文静会長）から白石交通安全協会（齋藤好会長）に反射材1,000個が寄贈。伊藤署長の「今年こそ交通死亡事故ゼロに」とのあいさつの後、平成26年度発足した「白石警察甲冑隊」の関の声に合わせ、参加者全員が「エイ、エイ、オー！」と力強くパトロールに出陣する白バイやパトカーを見送りました。



▲白石警察署甲冑隊の隊員と一緒に関の声をあげる関係者たち